



千葉労働運動

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)

電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043(222)7207 番

95.7.18 No. 4225

7/14~16 勝浦総行動。 署名は、13,400名に!!

勝浦総行動に 百名が結集!

七月十四日から十六日の三日間、勝浦運転区の存続を求める署名運動の総行動が行なわれました。この行動には、各支部から一〇〇名を超える組合員が参加、署名は、一万三千四百名に達しました。署名数は、勝浦市の有権者の七割近くに達し、市民の過半数を大きく超える数です。勝浦運転区の存続と、切られた列車の復活を求める声は、JR当局がいかに妨害しようとも、まさに全市民の声となっています。市民からは、別掲のような無数の励まし声が寄せられています。

この署名は、組合員や家族が雨の日も風の日も、一軒一軒を回り、靴をす滅らしなが集めた署名です。この一カ月半、ほんとうにご苦勞様でした。とくに、勝浦支部の一丸となった奮闘ぶりはめざましいものでした。われわれは、この一カ月半の取り組みを通して、勝浦運転区廃止粉砕に向けた確かな土台を築いたと言えます。

しかし、闘いはまだまだこれからです。市民の声をJRに突きつけ、動労千葉破壊攻撃・不当労働行為そのものとしての勝「鴨川運輸区」新設攻撃の本質を明らかにし、勝浦運転区の廃止を阻止しよう!

鴨川でマンション を借りあげる?? また新たな事実が!

「鴨川運輸区」新設をめぐる新たな事実が明らかになった。千葉支社は、学士の運転士を「鴨川運輸区」に配属しようとして打診して回っているのである。しかもその際、「通勤できなければマンションを借りあげて住宅は確保する」とまで言っているのだ。一体全体、こんな異常な話しがどこからでてくるのか! 動労千葉の組合員を排除するためには、幾ら金を投じても惜しくないというのである。団交の場では、未だ「鴨川運輸区」新設にかかわる総工費が幾らかかるのか不明らかにしているが、一億一千万円と言われる資金を投じ、学士の運転士や管理者のためにマンションま

で借り上げるといいうやり方は異常としか言いようがない。もちろん、鴨川にマンションを借りて住宅をつくるなどということは、組合には一切提案されていない。それどころか、要員操配の考え方すら、「今後の検討事項だ」というのが公式回答だ。しかし、裏ではJR総連との結託人事が進めれようとしているのだ。鴨川車掌区では、JR総連の分会長が、「車掌は全員JR総連の組合員にする」と公言している。不当労働行為そのものとしての「鴨川運輸区」新設攻撃の本質が次々と明らかになっていく。われわれは、断じてこのような攻撃を許すことはできない!

寄せられた激励の手紙

水野様

チラシ報告を拝見させていただきました。チラシの発行に対する勇気と金銭的問題を克服して発行して下さった事に対して誠に有り難く、厚くお礼申し上げます。今後ともご奮闘を御祈りいたします。私事無記名で申し上げる事は誠に失礼とは存じていますが、今までにない新鮮さにはかれた事が、此の様な仕草になってしまい申し訳ございません。

私供が一番心配している事は勝浦市がこれから何処へ行くのか、千葉県知事の勝浦市なのかと言う疑問がでてくるのです。また聞くところによると、登記保、健所等も無くなると聞いています。また勝浦市の都市計画についても、市の予算がどの程度都市計画に計上されているのか等を考えますと、本当に独自性のある市政なのか。

言うは易いが、実行は中々難しいのが世の常です。
水野様の益々のご健闘を御祈り致します。 無記名

清算事業団事件 中労委審問再開

○7月27日 13時~ 結果を!
○中野委員長が証言!